

三春の教育情報ステーション

● 全国学力・学習状況調査結果が発表されました

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、次の目的で小学6年生と中学3年生を対象に全国学力・学習状況調査が実施されました。

- ◎ 児童・生徒の学力・学習状況を把握・分析することにより、教育委員会及び各学校の教育および教育施策の成果と課題を把握しその改善を図る。
- ◎ 児童・生徒一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげる。

国語、算数（数学）の基礎学力が身についているかを調べる「A：主として知識」の問題と、今まで学習したことを活用する能力が身についているかを調べる「B：主として活用」の問題、そして、児童生徒の学校や家庭での学習や生活の様子をたずねる調査からなります。

全国的には、昨年度より成績が向上していますが、活用の能力が課題となっています。三春町の小・中学生の結果を分析すると以下のようになりました。

◆ 活用の問題が昨年より向上！

小学6年生は、全国・県平均とほぼ同じ値でしたが、昨年度課題であった「B：主として活用」の問題が国語、算数とも向上しました。各学校で、身に付けた知識を活用する授業を意識して実践してきた成果が現れました。

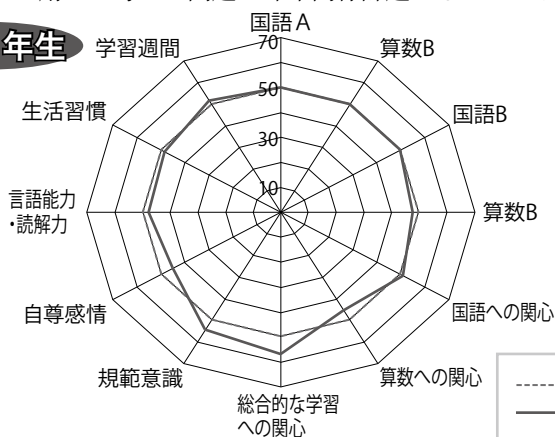
漢字やローマ字の読み書き、四則の混じった計算、そしてグラフを用いて考える問題が昨年同様課題となっています。

◆ 中学生は全国トップレベルの学力！

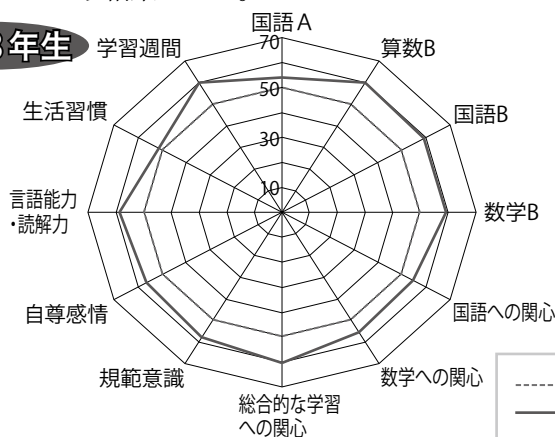
中学3年生は、全国・県平均より5～9ポイント上回っており、全国1位の秋田県や福井県とほぼ同じ値というすばらしい成績でした。中学生も活用の問題が昨年度より大きく向上しています。

特に、国語においては、Aの問題よりBの問題の方が良いという結果でした。

小学6年生



中学3年生



◆ 生徒質問紙調査から

小学6年生は、「学校の決まりを守る」、「近所の人へあいさつする」といった規範意識や総合的な学習への関心が全国・県平均より上回っています。

しかし、「自分にはよいところがある」と思う割合が低く、自尊感情や算数への関心がやや課題となっています。

中学3年生はすべての観点で上回っており、特に学習習慣や総合的な学習への関心が高くなっています。授業の予習や復習はもちろん、苦手な教科の学習やテストで間違えた問題をやり直す割合が高くなっています。過去3年間のデータからも家庭学習の習慣が身に付いてきていることがわかります。

各学校においても、結果を分析し、課題である問題をもう一度指導したり、一人ひとりに応じた相談や支援に取り組めます。さらに、小学校と中学校が連携し、授業研究会を通して指導力の向上に取り組んでいきます。

三春中男子駅伝県大会3位！

福島県中学校駅伝競走大会が、10月7日に西郷村で開催されました。田村支部代表として三春中学校男子チームが出場し、58分48秒の記録で見事第3位に入賞し、東北大会出場権を獲得しました。

◆ 出場選手

- 主将：大内祐太（3年）
 清水目大貴（3年）、武田英樹（3年）高橋知大（3年）、
 田村 傑（3年）、影山健太（3年）吉村慶介（2年）、
 山崎 紅（2年）、伊藤修久（1年）

主将の大内さんは、最後まであきらめずにタスキをつないで行きたい。三春町の代表としてがんばってきますと力強く語ってくれました。



出場報告に訪れた選手のみなさん